

平成 19 年 4 月 19 日

各 位

会社名	竹田印刷株式会社	
代表者名	代表取締役社長	齋藤 正俊
コード番号	7875 (名証第二部)	
問合せ先	取締役経営統括本部長	服部 信司
	TEL (052)871-6351	

役員退職慰労金制度の廃止およびそれに伴う特別損失の発生 ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、役員（取締役および監査役）の退職慰労金制度を廃止することを決定いたしました。これに伴い、役員退職慰労金の過年度分を一括して計上することによる特別損失の発生および最近の業績動向等も踏まえ、平成 19 年 3 月期の業績予想を修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 役員退職慰労金制度廃止の理由

当社グループは経営改革の一環として役員報酬体系の見直しを行い、役員報酬をより業績に連動したものにするため、後払いの年功的な要素の強い役員退職慰労金制度を平成 19 年 6 月下旬に開催予定の当社第 69 回定時株主総会およびグループ各社の定時株主総会終結のときをもって廃止することといたします。

2. 役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給

役員退職慰労金制度の廃止に伴い、当社第 69 回定時株主総会およびグループ各社の定時株主総会において、在任中の役員に対する就任日から本株主総会終結の時までの在任期間における退職慰労金の打ち切り支給について、付議いたします。

なお、在任中の役員に対する役員退職慰労金の支給時期につきましては、対象となる役員の退任時とする予定です。

3. 平成 19 年 3 月期の役員退職慰労引当金

役員退職慰労金制度の廃止に伴い、役員退職慰労金の過年度分 695 百万円を、特別損失に計上いたします。

なお、当社および主要な連結子会社では、役員退職慰労金に関する内規を整備したことを機に、平成 19 年 3 月期から内規に基づく期末要支給額を引当金として計上する方法に変更し、過年度分については 3 年間で按分して計上することとしておりましたが、制度廃止決定に伴い平成 19 年 3 月期に全額を特別損失に計上することといたします。

(単位：百万円)

	連 結	個 別
今回、追加して平成 19 年 3 月期に特別損失に計上する 役員退職慰労金引当額 (A)	464	312
当初、平成 19 年 3 月期に特別損失への計上を予定していた 役員退職慰労金引当額 (B)	231	155
引当処理する役員退職慰労金引当額の合計 (A + B)	695	467

4. 業績予想の修正

(1) 平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の連結業績予想数値

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 9 日発表)	49,000	1,750	750
今回修正予想 (B)	46,000	1,350	230
増減額 (B - A)	3,000	400	520
増減率 <%>	6.1%	22.9%	69.3%
<参考> 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	48,000	1,900	951

(2) 平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の個別業績予想数値

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 9 日発表)	24,600	850	310
今回修正予想 (B)	22,200	810	80
増減額 (B - A)	2,400	40	230
増減率 <%>	9.8%	4.7%	74.2%
<参考> 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	23,380	985	419

5. 修正の理由

役員退職慰労金の過年度分の全額を特別損失に計上することに加え、商業印刷部門における受注単価の下落が予想以上に大きくなったことなどの影響により、平成 18 年 11 月 9 日に公表した業績予想を下回る見込みとなりました。このため、連結および個別の業績予想を修正いたします。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上